

アラブ首長国連邦

2020年11月20日
海外調査部・ドバイ事務所

2019年の実質GDP成長率は1.7%となった。2020年は新型コロナウイルス流行の影響と原油価格の下落により、IMFは3.5%のマイナス成長と予測した。2019年の貿易は輸出減少・輸入微増により黒字幅が縮小したが、非石油部門の輸出は拡大傾向にある。直接投資も対内・対外ともに拡大した。対日貿易は輸出入ともに減少となった。政府は感染対策を打ちながら、景気刺激策や外資誘致強化に取り組む必要に迫られている。

■2019年の成長率は1.7%

2019年のアラブ首長国連邦（UAE）の実質GDP成長率は前年比0.5ポイント増の1.7%となった。2009年にリーマン・ショックの影響からマイナス成長に落ち込んだ後、2010年代は回復をみせていたが、次第に成長は鈍化し、プラス成長ではあるものの、2018年に続いて1%台の低成長となった。GDPの約3割を占める石油部門の成長率が3.4%と成長を牽引した一方、7割を占める非石油部門は1.0%の成長率にとどまった。

需要項目別にみると、民間最終消費支出が13.4%増、政府最終消費支出が14.3%増と、そろって10%台の成長を記録したが、財貨・サービスの輸出が減少したことで、純輸出が20.4%減の大幅な減少となり、外需の成長は鈍化した。なお、財貨・サービスの輸入は3.6%増と、内需は微増となっている。

産業別の成長率をみると、石油部門が3.4%増となったほか、運輸・倉庫業（3.9%増）、ホテル・フードサービス業（3.8%増）、電力・ガス・水・ごみ処理業（2.7%増）、製造業（2.2%増）などがプラス成長となった。一方で、建設業（2.6%減）、情報通信業（0.6%減）などはマイナス成長となった。

2019年の消費者物価指数（CPI）上昇率は、前年比5.0ポイント減のマイナス1.9%となった。2017年10月の物品税、2018年1月の付加価値税（VAT）の導入の影響が一段落したことや、不動産価格・家賃の低下などがCPIを押し下げた。

新型コロナウイルスの感染拡大が経済に与える悪影響は、UAEにとっても例外ではない。UAEの経済見通しについて、IMFは2020年4月の発表において、2020年の成長率をマイナス3.5%と予測した。同年1月時点での2.5%成長の予測から、6.0ポイントもの下方修正となった。UAE中央銀行も、2020年9月に発表した同年第2四半期の経済レポートにおいて、2020年の見通しを5.2%のマイナス成長と予測しており、その内訳を石油部門は非公表、非石油部門がマイナス4.5%としている。コロナ禍がもたらすヒトやモノの移動の減退に加え、原油価格の低迷の影響も大きく、UAEの国家財政にも大きな負の影響があるとみられる。

表1 アラブ首長国連邦 (UAE) の実質GDP

(単位：100万ディルハム、2010年価格、%)

	項目	2017年	2018年	2019年			
		金額	金額	金額	成長率	シェア	寄与度
需要項目別	民間最終消費支出	473,119	501,973	569,166	13.4	38.3	4.6
	政府最終消費支出	165,132	156,934	179,324	14.3	12.1	1.5
	国内総固定資本形成	260,818	270,218	270,277	0.0	18.2	0.0
	財貨・サービスの純輸出	364,269	411,826	327,691	△20.4	22.0	△5.8
	財貨・サービスの輸出	1,366,435	1,523,589	1,478,930	△2.9	99.5	△3.1
	財貨・サービスの輸入 (控除)	1,002,166	1,111,763	1,151,239	3.6	77.5	2.7
	全体	1,444,549	1,461,737	1,486,261	1.7	100.0	1.7
部門・産業別	石油部門 (鉱業・採石業、含：石油・ガス)	418,524	428,781	443,487	3.4	29.8	1.0
	非石油部門	1,026,025	1,032,956	1,042,774	1.0	70.2	0.7
	非金融部門						
	卸売・小売・修理サービス業	181,798	184,359	186,489	1.2	12.5	0.1
	製造業	123,381	122,330	124,995	2.2	8.4	0.2
	建設業	124,291	127,275	123,953	△2.6	8.3	△0.2
	運輸・倉庫業	80,050	81,693	84,883	3.9	5.7	0.2
	不動産業	82,013	79,322	80,163	1.1	5.4	0.1
	電力・ガス・水・ごみ処理業	41,956	42,183	43,301	2.7	2.9	0.1
	情報通信業	41,896	43,115	42,838	△0.6	2.9	△0.0
	専門・科学技術サービス業	36,916	38,342	39,187	2.2	2.6	0.1
	ホテル・フードサービス業	30,838	32,312	33,537	3.8	2.3	0.1
	金融・保険業	122,140	119,051	118,698	△0.3	8.0	△0.0
	政府サービス部門	77,874	78,023	77,994	△0.0	5.2	△0.0
	全体	1,444,549	1,461,737	1,486,261	1.7	100.0	1.7

[注] 2019年は暫定値のため、変更される可能性がある。主要項目のみ抽出しているため、各項目の合計は全体と一致しない。

[出所] UAE連邦競争力・統計局から作成

国連貿易開発会議 (UNCTAD) によると、UAEの2019年の対内直接投資額 (ネット、フロー) は前年比34億200万ドル増の137億8,700万ドルで、対内直接投資が総固定資本形成に占める割合は21.1%と8.2ポイント増加した。対内直接投資残高は1,541億700万ドルとなり、GDPに対する割合は、前年から4.4ポイント増加の38.3%となった。対外直接投資額 (ネット、フロー) は8億2,200万ドル増の159億100万ドルとなり、対内外の直接投資の双方において増加した。

■石油輸出額の減少に伴い貿易黒字幅は縮小

2019年のUAEの貿易額 (通関ベース) は、輸出が前年比1.6%減の1兆1,602億ディルハム、輸入が2.5%増の9,840億ディルハムで、1,762億ディルハムの貿易黒字となった。しかし、2018年が2,186億ディルハムの黒字であったのに比べ、黒字幅は424億ディルハム縮小した。

輸出減少の主な要因としては、輸出額の18.2%を占める石油部門が前年比14.7%減となったことが大きい。原油価格が前年に比べて低く推移したことが背景にある。地場輸出の非石油部門は1.1%増、再輸出も2.5%増と拡大したものの、石油部門の減少を補うには至らなかった。輸入をみると、国内市場向け輸入が2.3%増、フリーゾーン輸入が2.7%増、ガス輸入が0.8%増とそれぞれ拡大しており、内需は堅調に推移した。

また、UAE連邦競争力・統計局が発表している品目別貿易額 (アブダビ国営石油会社 (ADNOC) による石油関連輸出やフリーゾーン輸出などを除く) をみると、総輸出 (地場輸出に再輸出を加えた数値) は6,886億4,700万ディルハムとなり、前年比8.0%増となった。輸出を品目別にみると、増加

に寄与したのは地場輸出の32.9%を占める真珠・貴石・貴金属（19.1%増）で、金の国際価格が前年比で高く推移したことによる。

輸出を国別にみると、地場輸出ではサウジアラビア向けが309億2,510万ディルハム（前年比1.8%減）で最大、次いでインド239億5,672万ディルハム（33.9%増）、スイス209億1,400万ディルハム（2.6倍）だった。再輸出も1位はサウジアラビアで571億9,044万ディルハム（18.9%増）、イラク412億7,197万ディルハム（27.3%増）、インド299億986万ディルハム（2.1%増）と続いた。

輸入を品目別にみると、車両・航空機・船舶が前年比12.5%減となった以外は、機械類および電気機器が3.2%増、真珠・貴石・貴金属が8.2%増など増加しており、全体では1.8%の増加となっている。国別では、中国からの輸入が1,497億5,594万ディルハム（前年比7.3%増）で最大で、インド981億8,542万ディルハム（15.9%増）、米国731億1,542万ディルハム（4.3%減）で、日本はそれに続く4位の463億2,466万ディルハム（8.6%減）となった。

表2 アラブ首長国連邦 (UAE) の輸出入 (通関ベース)

(単位：10億ディルハム、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
石油輸出	247.2	211.0	18.2	△14.7	輸入 (国内市場向け) フリーゾーン輸入 ガス輸入	600.6	614.5	62.4	2.3
原油	117.5	98.6	8.5	△16.1		347.0	356.5	36.2	2.7
非石油輸出	410.6	415.1	35.8	1.1		12.8	12.9	1.3	0.8
再輸出	521.2	534.1	46.0	2.5					
合計	1,179.0	1,160.2	100.0	△1.6	合計	960.4	984.0	100.0	2.5

[注] 2019年は暫定値。

[出所] UAE中央銀行から作成

表3 アラブ首長国連邦 (UAE) の非石油部門直接貿易 (品目別輸出入)

(単位：100万ディルハム、%)

	地場輸出					再輸出					輸入			
	2018年		2019年			2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
真珠・貴石・ 貴金属	63,847	76,073	32.9	19.1	機械類および 電気機器	154,008	168,154	36.8	9.2	機械類および 電気機器	230,755	238,194	26.0	3.2
卑金属および その製品	49,361	48,523	21.0	△1.7		真珠・貴石・ 貴金属	104,637	99,586	21.8		△4.8	真珠・貴石・ 貴金属	198,878	215,132
調製食料品、 飲料、アル コール、食 酢、たばこ	19,870	21,792	9.4	9.7	車両・航空機・ 船舶	61,064	54,804	12.0	△10.3	車両・航空機・ 船舶	103,165	90,219	9.9	△12.5
鉱物性生產品	10,780	21,544	9.3	99.9	鉱物性生產品	10,238	25,041	5.5	144.6	鉱物性生產品	61,804	65,946	7.2	6.7
プラスチック およびゴム	15,853	17,298	7.5	9.1	化学工業產品	19,643	20,674	4.5	5.2	化学工業產品	54,329	57,492	6.3	5.8
合計(その他含む)	206,050	231,237	100.0	12.2	合計(その他含む)	431,551	457,410	100.0	6.0	合計(その他含む)	898,481	914,852	100.0	1.8

[注] 石油輸出を含まない。本統計にはFOB、CIFの掲載がない。

[出所] UAE連邦競争力・統計局から作成

表4 アラブ首長国連邦(UAE)の非石油部門直接貿易(国別輸出入)

(単位:100万ディルハム、%)

	地場輸出				再輸出				輸入					
	2018年		2019年		2018年		2019年		2018年		2019年			
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率		
サウジアラビア	31,507	30,925	13.4	△1.8	サウジアラビア	48,084	57,190	12.5	18.9	中国	139,600	149,756	16.4	7.3
インド	17,889	23,957	10.4	33.9	イラク	32,426	41,272	9.0	27.3	インド	84,714	98,185	10.7	15.9
スイス	7,954	20,914	9.0	162.9	インド	29,309	29,910	6.5	2.1	米国	76,373	73,115	8.0	△4.3
オマーン	17,249	16,221	7.0	△6.0	スイス	26,617	29,238	6.4	9.8	日本	50,710	46,325	5.1	△8.6
クウェート	10,465	9,927	4.3	△5.1	中国	13,703	26,130	6.4	9.8	ドイツ	40,179	36,998	4.0	△7.9
日本(12位)	2,939	4,434	1.9	50.9	日本(28位)	609	2,996	0.7	391.8	英国	28,240	26,766	2.9	△5.2
合計(その他含む)	206,050	231,237	100.0	12.2	合計(その他含む)	431,551	457,410	100.0	6.0	合計(その他含む)	898,481	914,852	100.0	1.8

[注] 石油部門を含まない。本統計にはFOB、CIFの掲載がない。

[出所] UAE連邦競争力・統計局から作成

■対日貿易は輸出入ともに減退

2019年の日本の対UAE貿易について、日本の財務省貿易統計をドル換算したものでみると、日本からUAEへの輸出額は71億8,621万ドル(前年比9.1%減)、輸入は262億69万ドル(4.8%減)となり、貿易赤字は190億1,448万ドル(3.1%減)とわずかに縮小した。日本はUAEにとって第4位の貿易相手国という立場は維持したものの、輸出入ともに前年比減となった。輸出減の要因としては、59.8%のシェアを占める輸送用機器が前年比18.9%減となったことが挙げられ、特に乗用車が26.6%減となった。一方で、鉄鋼は32.7%増、原動機は41.8%増となっている。

輸入は、構成比の96.7%を占める鉱物性燃料が4.7%減となり、そのまま輸入全体の減少に反映されている。輸入の2.5%を占める非鉄金属(アルミニウム等)も12.7%減となっているが、これらは、原油価格とアルミニウムの価格がそれぞれ前年比で低く推移したことに影響を受けているとみられる。

日本銀行の国別・業種別対外・対内直接投資統計(ネット、フロー)をみると、2019年の直接投資額の動向は、日本からUAEへの直接投資額は161億円で、前年から294億円減少した。一方で、UAEから日本への直接投資額は143億円で、前年から81億円増加した。

2019年5月以降の1年間で、新たにUAEに現地法人や駐在員事務所などを設立した企業としては、神戸製鋼所子会社の米ミドレックスがドバイに現地法人を設立(2019年10月)、医療機器製造のキヤ

表5 日本の対UAE主要品目別輸出入(通関ベース)

(単位:100万ドル、%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	5,298	4,294	59.8	△18.9	鉱物性燃料	26,583	25,342	96.7	△4.7
乗用車	4,342	3,189	44.4	△26.6	原油および粗油	20,623	21,865	83.5	6.0
原料別製品	711	788	11.0	10.8	石油製品	2,695	1,944	7.4	△27.9
鉄鋼	242	322	4.5	32.7	揮発油	2,695	1,944	7.4	△27.9
一般機械	987	1,111	15.5	12.6	液化天然ガス	2,693	1,131	4.3	△58.0
原動機	322	457	6.4	41.8	液化石油ガス	572	401	1.5	△29.9
電気機器	333	352	4.9	5.8	原料別製品	778	676	2.6	△13.0
音響・映像機器	52	49	0.7	△5.9	非鉄金属	761	664	2.5	△12.7
合計(その他含む)	7,903	7,186	100.0	△9.1	合計(その他含む)	27,528	26,201	100.0	△4.8

[出所] 財務省「貿易統計(通関ベース)」から作成

ノンメディカルシステムズが中近東統括部門を置くために現地法人設立（2020年1月）した事例などがある。これらは、UAEやサウジアラビアをはじめとした中近東地域に加え、アフリカ地域への事業拡大を見据える拠点としての機能も果たす。

■新型コロナの影響大も経済再開の動き

UAE連邦政府ならびにアブダビ、ドバイなど首長国政府は、新型コロナの感染拡大が加速した2020年3月以降、感染対策および経済刺激策を相次いで発表した。UAE中央銀行の経済レポートによれば、2020年第2四半期（4～6月）の実質GDP成長率は前年同期比マイナス7.8%と、前期（1～3月）のマイナス0.8%から大幅に減速した。新型コロナ対策として、国全体で3月下旬から約3カ月の夜間外出禁止措置がとられ、国際旅客便も停止したことや、ドバイで4月に約3週間の終日外出禁止措置が発令されたことで、経済活動が著しく制限されたことが影響したとみられる。5月以降は移動に関する規制が解除され、ドバイで7月からは観光客の受け入れが再開されるなど、経済再開の動きがみられている。

2020年10月に開幕が予定されていたドバイ国際博覧会（ドバイ万博）は、2021年10月開幕に、1年の延期が発表された。万博は観光を中心とした国内産業を回復する大きな要素となるだけに、それまでのコロナ禍の収束が望まれる。

主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：950.4万人（2019年）			
②面積：8万3,600km ²			
③1人当たりGDP：4万3,103米ドル（2019年）			
④実質GDP成長率（%）	2.4	1.2	1.7
⑤消費者物価上昇率（%）	2.0	3.1	△1.9
⑥失業率（%）	—	—	—
⑦貿易収支（100万米ドル）	67,202	85,669	74,777
⑧経常収支（100万米ドル）	27,474	40,493	29,645
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	95,060	99,194	107,258
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	—	—	—
⑪為替レート（1米ドルにつき、UAEディルハム、期中平均）	3.6725	3.6725	3.6725

〔注〕①：推計値、④⑦⑧：2019年は推計値、⑦：国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①④⑤：UAE連邦競争力・統計局、②経済省、③：世界銀行、⑦⑧：UAE中央銀行、⑨⑩：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp